



# バドミントン山形

山形県バドミントン協会広報 2015 No.50

<http://www.badminton-yamagata.net> 大会日程等はこちらでご覧になれます

第50号

平成27年 3月21日

発行

山形県

バドミントン

協会

印刷 山形印刷株式会社

## 全日本シニア三十五歳S東北選手権大会成年S(四連覇) 優勝

遠藤 保樹さん

昨年、開催されました東北選手権大会成年シングルス、並びに全日本シニア選手権大会三十五歳以上シングルスにおいて、優勝することができましたので拙文ですがご報告させていただきます。

東北選手権大会成年シングルスでは、山形県の代表という自覚を持って大会に臨み、優勝することができ、四連覇を達成することができました。大会前は、満足のいく練習ができず不安もありましたが、山形県に貢献できて安堵した気持ちと、うれしい気持ちでいっぱいです。

また、全日本シニア選手権大会三十五歳以上シングルスでは、過去に出場した三十歳以上シングルス優勝に続き、優勝する事ができました。昨年度も同種目に出場しましたが、ベスト8という結果に終わり、自分としては結果に納得がいらず、更に敗戦時の試合は不甲斐ない内容だったため非常に悔しい気持ちでした。今回は、悔しい気持ちを晴らすべく、一戦一戦後悔しないよう全力で戦い、ベスト8以上を目標とし、願わくば前回敗れた選手に勝ちたいという気持ちで大会に臨みました。その結果、前回敗れた選手から激戦の末、勝利し優勝という自分でも驚く結果となりました。

今回、このような結果を残すことができたのも、鶴岡地区や山形県の関係者のご支援、ご指導や、職場のバドミントンに対するご理解、そして、家族の協力のおかげです。また、私は、小学生から現在まで地元鶴岡市で練習に励んでいます。が、これまで先輩や仲間達と取り組んできた練習は、決して間違っていないかったと改めて確信しました。今後、これまでのご支援、ご指導に恩返しができるよう、山形県そして鶴岡のバドミントン発展のために、貢献していきたいと考えております。



## 全国で開花！山形のシニア

## 全日本シニア五十五歳 ダブルス 優勝

佐藤 美代子さん

今年度は、四月から体調を壊し、七月から八月にかけて一か月半にわたる闘病生活で日常生活もままならず、ましてやバドミントンなど二度と無理なのではと思っていました。全国レディース大会もやむを得ず、棄権。協会の仕事すらも非常に厳しくて：それに十月から孫も預かることに：そして私のペアの前十字靭帯断裂と：次々と自分へ障害と重圧がのしかかってきて、正直出場すら諦めていました。

大会一か月前によくお医者さんの許可も出て、身体も徐々に動かせるようになり、いよいよ目標に向けて遅いスタートでした。基本からのスタートだったので、スマッシュヘアピン交互、ドロップヘアピン交互、全面クリヤーとまるで高校生のような練習内容でしたが、ラケットを持てる喜びに浸っていました。そして大会本番。体調や練習不足の状態を考えると出場できる喜び以上に不安の方が大きい中、その不安は的中。組合せも非常に厳しくて、混合はベスト16で超大物と当たり、自分の今の実力を試すしかないとの思いで対戦し惨敗(その相手は優勝)。女子複はベスト8で前年度優勝者との対戦で相手は、混合も複も単も常に全国大会で私のライバルとして競り合っている彼女との戦いなので、何としてもここを勝たねばと。予想通り激しい戦いとなりましたが何とか競り勝ち、終わってみるとこの試合以外は全てストレート勝ちでした、今年はペアも自分もレシーブから攻撃に持っていくスピード、二人の息の合った攻撃力は誰にも負けない自信みいたいものがありました。

女子複初優勝でした。二位三位は何回かありましたが…。  
今大会は色々な障害をのり越えての出場でしたが、困難に打ち勝ってこそ、喜びも大きく、ラケットを持てることの幸せを改めて感じた大会でした。



# 大会を振り返って

## 第六十九回国民体育大会バドミントン競技会

(長崎がんばらばらば国体二〇一四)

(長崎県長崎市)

【成年男子】 監督 青柳壮彦

選手 五十嵐 優 (中央大学一年)

大山 琢也 (法政大学四年)

田中 貴志 (でん六)

今大会は、新加入で昨年度少年の部で優勝している五十嵐優(中央大学一年)選手を中心に大山琢也(法政大学四年)選手と田中貴志(でん六)選手の若手三名で挑んだ。

初戦の相手は茨城県。ダブルスでは立ち上がりこそ競ったものの、中盤から小松崎選手の前への飛び出しが早くフロントコートを支配され徐々に劣勢になりゲームを落とし、二ゲームもこの流れを変えられず敗れた。第一シングルスは新加入ながら経験豊富な五十嵐選手がインターバル以降相手のミスを誘うラリーに持ち込みこのゲームに勝利すると二ゲーム目も落ち着いた試合運びで勝利した。第二シングルスでは相手のキレのあるショットでカウンターの決められる苦しい状況に対応できずこのゲームを落とした。第二ゲームになると相手はダブルスと第一ゲームのハイペースから疲れが見え始めたため長いラリーをしての体力勝負に持ち込んだ。相手の動きが鈍くなりあと少しのところまで追い詰めたが、あと一本が奪えず惜敗した。大会を振り返ってみると、一回戦では敗れたものの見応えのある内容であったし、ミニ国体では数年ぶりに一位で通過し来年以降期待を抱かせるには十分な戦いであった。更なるランクアップのためには今以上にジュニアの強化を図り全体的なレベルアップをしていけば近い将来必ず良い結果が出



ると思います。最後になりましたが、県内各地よりたくさんの方の応援をいただき監督・選手一同心より感謝申し上げます。

## 第十三回日本バドミントン

ジュニアグランプリ二〇一四

(宮城県仙台市)

【男子】 監督 神保一寿 コーチ 青柳壮彦

選手 小学生 伊藤 楓也 (長井西根小)

赤松大壱吉 (天童北部小)

赤木 優佑 (米沢三中)

遠藤 黎 (米沢二中)

山口 湧大 (天童四中)

岩田 零 (山形一中)

澁谷 光希 (鶴岡工業)

後藤 駿斗 (鶴岡工業)

山本 祐貴 (鶴岡工業)

平成二十六年十一月二十一日〜二十三日に宮城県で第十三回ジュニアグランプリ大会が行われ、山形県代表として参加しました。

今年も代表者会議での抽選で対戦相手が決まりました。

抽選の結果、予選リーグの相手は、京都府と栃木県と北海道でした。今までは三チームのリーグ戦でしたが、今回は四チームのリーグとなり対戦数が増え選手にとってもより多くの選手と試合経験を積むことが出来た大会となりました。

試合の結果は、京都、栃木とは惜しくも二―三で、南北海道とは〇―五で敗れて、予選リーグ敗退となりました。

今大会を通して、ダブルスで四勝二敗、シングルスで九敗という勝敗だったので、小、中、高を通して今後シングルスの強化が最優先と考え取り組んでいきたいと強化スタッフ間で再確認させられた大会となりました。今まで以上に選手、スタッフ一同全力でレベル向上に向けて頑張っていきたいと思えます。

今大会を通して、沢山の励まし、応援ありがとうございました。

【女子】 監督 杉山慶太 コーチ 石沢良則

選手 小学生 原田 美唯 (山形二小)

鈴木 育美 (鶴岡大山小)

中学生 大沼友里愛 (天童三中)

三上 菜月 (米沢南原中)

吉田 有希 (上山南中)

佐藤 寧音 (山形六中)

高校生 安部菜美子 (長井高校)

伊藤 千里 (山形商業)

佐藤 結香 (山形商業)

今回女子チームは予選リーグの抽選で、宮城A、秋田という東北勢での予選となりました。まず、初戦の宮城A戦では、いかに全国上位選手に対し勝ちたいという気持ちを前面に出せるかがポイントでありました。小学生で一勝することは出来ましたが、後が続かず敗戦となりました。この試合では、高校生の単複が厳しい戦いを強いられました。特にダブルスでは堅い守備と、サウスポーカーの強烈なアタックに苦しめられ、攻守共に実力差を見せつけられた形となりました。

次の秋田戦では必ずチームとして勝利すると前日ミーティングでも話しており、宮城戦とは違ったオーダーで臨みました。結果は三―二で勝利することができました。すべての試合で我慢して長いラリーを展開し、一点ずつ確実に取り最後まで全力で戦ってくれました。

この大会を通じて、各年代とも全国との差を肌で感じ、自分が今何を練習していくべきか感じ取ってくれたと思います。また、アップ等の試合への入り方も、石沢コーチの経験や技術を学んでくれたと思えます。これらを活かし、更なる飛躍を期待します。



# 注目のホープ



『1014年度を振り返って』  
五十嵐 優

去年の春、私は埼玉栄高を卒業し中央大学へ入学しました。今年度を振り返ると一年間というのはあっという間でした。新たな環境に少し戸惑いなどもありましたが、徐々に慣れていき充実した一年間を過ごす事ができました。今年度は大学のリーグや東日本大会、成年男子としての団体、インカレ、そして全日本総合と様々な経験を積むことができました。大学に入り初めてのことばかりで、右も左もわからないまま無我夢中で試合をしてきました。その中でもいい結果がでた試合もあれば、悪かった試合もありました。自分は一年生から大学でレギュラーとして出させていたのだというのですが、一年生だからなどといった言い訳のきかない大事な試合もありました。自分の勝ち負けでチームの流れが変わったり、またチームの勝敗も変わる大事な場面もありました。その中で自分のプレーを発揮するという事はとても難しいというのを感じました。チームの勢い、プレッシャー、そして相手の応援といった事も含めていつも通りを保つことが大切であると



感じました。そしてどんな時でも自分のプレーをし続けることが大事であると思えました。その日の体調、モチベーション、調子など理由は様々であれ自分のベストのパフォーマンスをしなければなりません。そのために、毎日毎日の練習で自分がどうしたらベストを出せるか、どうしたら勝てるかと自分の頭でしっかり考えて練習する事を意識しはじめました。しかし一日でも自分の気持ちに負けて練習をおろそかにしてしまったり、楽をしてしまったりするとそれが必ず大事な場面に出てしまいます。そうならないために日々の練習一日一日を大切にしたいです。どんな時でも自分のベストのパフォーマンスができる、そんな選手を目指していきたいと思えます。そして今年は去年以上の成績を出して、今よりもっと上へのステージで戦えるよう頑張りたいと思います。

手になり、山形の子供たちの目標になるよう様に頑張ってもらいたいものです。今年の国体は和歌山県で開催されます。二ノ六の東北予選を突破し『べ』にばな国体一以来の天皇杯得点の獲得を期待したいと思います。



『今後の成年男子に期待』  
米山理事長

平成二十六年年度の国体東北予選の成年男子は、ストリート種目とは言え青森県、宮城県を撃破し久方ぶりにトップ通過しました。その立役者は、鶴岡四中から埼玉栄高校へ進学し、昨年四月に中央大学に入学し、ふるさと選手として出場した五十嵐優選手でした。五十嵐選手は、平成二十六年度関東学生選手権大会のダブルスでベスト4に入り、同年の東日本学生選手権大会のシングルスで準優勝するなど、大学一年生ながら見事な成績を収めました。

バドミントンはスピードとパワー、それに多彩で正確なショットが要求されます。日々のトレーニングと単純で辛い基本練習の積み重ねが重要になってきます。これに耐え抜く様々な大会で優勝目指して頑張りたいものです。山形では久しぶりに期待のもてる選手ですので、一日でも早くナショナルチーム入りし世界で戦える選手になり、山形の子供たちの目標になるよう様に頑張ってもらいたいものです。今年の国体は和歌山県で開催されます。二ノ六の東北予選を突破し『べ』にばな国体一以来の天皇杯得点の獲得を期待したいと思います。

## 平成26年度 山形県バドミントン協会 強化指定選手

| 男子         |       |    |        | 女子         |    |        |       |
|------------|-------|----|--------|------------|----|--------|-------|
| <b>高校生</b> |       |    |        | <b>高校生</b> |    |        |       |
| 菅原 理央      | 鶴岡工業  | 2年 | 安部 菜美子 | 長 井        | 2年 | 安部 菜美子 | 長 井   |
| 赤木 駿哉      | 米沢工業  | 2年 | 五十嵐 香澄 | 鶴岡工業       | 2年 | 五十嵐 香澄 | 鶴岡工業  |
| 大沼 琢弥      | 山本学園  | 2年 | 伊藤 千里  | 山形商業       | 2年 | 伊藤 千里  | 山形商業  |
| 岡田 樹       | 山形南   | 2年 | 佐藤 結香  | 山形商業       | 2年 | 佐藤 結香  | 山形商業  |
| 鎌田 圭介      | 山形南   | 2年 | 吉田 爽   | 山形西        | 1年 | 吉田 爽   | 山形西   |
| 澁谷 光希      | 鶴岡工業  | 1年 | 村山 可純  | 山形城北       | 1年 | 村山 可純  | 山形城北  |
| 後藤 駿斗      | 鶴岡工業  | 1年 | 高橋 七瀬  | 山形城北       | 1年 | 高橋 七瀬  | 山形城北  |
| 山本 祐貴      | 鶴岡工業  | 1年 |        |            |    |        |       |
| 鈴木 将也      | 山本学園  | 1年 |        |            |    |        |       |
| <b>中学生</b> |       |    |        | <b>中学生</b> |    |        |       |
| 赤木 優佑      | 米沢三中  | 2年 | 三上 菜月  | 南原中        | 2年 | 三上 菜月  | 南原中   |
| 安達 大真      | 鶴岡四中  | 2年 | 大沼 友里愛 | 天童三中       | 2年 | 大沼 友里愛 | 天童三中  |
| 山口 湧大      | 天童四中  | 2年 | 吉田 有希  | 上山南中       | 2年 | 吉田 有希  | 上山南中  |
| 遠藤 黎       | 米沢二中  | 2年 | 青柳 朱音  | 天童四中       | 2年 | 青柳 朱音  | 天童四中  |
| 小鯖 樹一      | 米沢二中  | 2年 | 滝口 莉彩  | 天童四中       | 2年 | 滝口 莉彩  | 天童四中  |
| 五十嵐 功一     | 鶴岡一中  | 2年 | 野口 綾音  | 鶴岡三中       | 2年 | 野口 綾音  | 鶴岡三中  |
| 佐藤 輝樹      | 鶴岡一中  | 2年 | 佐藤 萌々花 | 鶴岡三中       | 2年 | 佐藤 萌々花 | 鶴岡三中  |
| 岩田 零       | 山形一中  | 2年 | 佐藤 寧音  | 山形六中       | 2年 | 佐藤 寧音  | 山形六中  |
| 五十嵐 光海     | 鶴岡一中  | 1年 | 庄司 晴香  | 天童三中       | 1年 | 庄司 晴香  | 天童三中  |
| <b>小学生</b> |       |    |        | <b>小学生</b> |    |        |       |
| 赤松 大吉吉     | 山 口   | 6年 | 原田 美唯  | ふじかけ       | 6年 | 原田 美唯  | ふじかけ  |
| 伊藤 楓也      | 長井JSC | 6年 | 土門 海音  | 立 川        | 6年 | 土門 海音  | 立 川   |
| 中川 楓磨      | 沼 田   | 6年 | 加藤 綾菜  | 長井JSC      | 6年 | 加藤 綾菜  | 長井JSC |
| 島貫 陽仁      | ふじかけ  | 5年 | 志田 真輝  | 立 川        | 5年 | 志田 真輝  | 立 川   |

強化指定選手の取り組み  
強化委員会事務局 島貫 祥寿

今年度も各種大会成績を参考に、中高四十二名を県強化指定選手として選出しました。練習会とはいうものの、全国中学生選手権大会の選手選考を兼ねていたり、東北大会や全国大会などを事前に控えていた選手も多く、どの選手も緊張感を持って練習会に臨んでくれました。また、練習会とは別に、県外遠征やNIT東日本のトップ選手と交流なども実施し、様々な形で強化を図ってきました。そして最終の合宿形式の練習会では、強化指定選手以外にも、各地区・各連盟から選出されたトップ選手も参加し、新年からの試合に向けての意識を高めながら、今年度の練習会は終了しました。

近々、本県では高校選抜大会やインターハイが開催されますが、この中から数多くの選手が、地元の応援を受けながら大舞台で活躍してくれるものと期待しています。



創刊から五十号  
への道のり

初代広報委員長 山口良典

春の訪れです。山形県バドミントン協会広報誌「バドミントン山形」発刊五十号記念、心よりお祝い申し上げます。

創刊されたのが昭和六十年八月。当時は七年後に山形県で開催される「べにばな国体」に向けて、山形県一丸となつて盛り上げ、地元優勝を勝ち取るためにはどうするかが大きなテーマでした。

協会有志でよく考えたところ、やはり広報誌を発行して協会の方針、強化策、普及、大会成績等の情報発信することが必要だということ、やってみようという提案をいたしましたところ、皆さん賛同され、創刊となりました。内容は未熟でしたが県協会会員には、大変喜んでいただきました。県スポーツ界にも配布し、スポーツ広報誌発行のさきがけともなりました。

発刊にあたり費用については、そのスポットで広告をお願いさせていただいたところもありましたが、特別にお願いし、レギュラースポンサーになっていただきました四社（ヨネックス様・ラケットショップ山形様・ジャワ商会様・でん六様）には本当にありがたく思っております。

県協会に負担をかけずに長い間継続することができましたのも四社のお陰です。現在の「バドミントン山形」は皆

さんのご努力により、現代の叡智を駆使し、記事の内容といい、枚数といい、情報量の豊富さといい、美しく見事な広報誌となりました。大変うれしく思います。

これからも山形県バドミントン界の発展のため、頑張っていたただきをお願い申し上げます。



広報誌「バドミントン山形」五十号発刊に寄せて  
第二代広報委員長 渋谷忠雄

広報誌「バドミントン山形」は、当初は各種大会記録内容主体とした広報誌で、より多くのバドミントン関係者に継続発信し続けていく方針で始まりました。

初代広報委員長は、各種・各方面で豊富な知識を持つ経験者の山口良典委員長に事業委員長と兼任して頂くことに決まりました。

その月、早速、担当役員が集まり内容検討を進めるとともに、乏しい経費の中での発行であった為、特に山口委員長を中心に広告資金調達については、協力依頼各社と資金交渉を進めていきました。そのスピード感をそのままに、その年、昭和六十年八月二十日に待望の創刊号が発行されました。同年十月には山形県バドミントン協会の「協会史」が発行された年でもありました。

当時の編集は、紙媒体が主で、「ハガキ」「封書」での原稿依頼から、原稿のやり取りもほとんどが紙媒体に

よるものでしたが、急用は黒電話での対応となり、何度も確認の電話を掛けなおしたりするなど、現在とはまた違った苦労があったものでした。特にレディース連盟選出・県協会選出の広報担当者の方々からは、年間を通しご苦労をおかけしたことが、今も心苦しく思っているところです。

最初は各種大会の記録の充実の為に、第五十号まで号数を継続発行でき、内容については、各種大会の記録をはじめ、県協会各種専門委員会の紹介や、優勝者へのインタビュー、PR活動報告、一般クラブの紹介等を企画から編集、数回の校正と、号が進み内容が充実するにつれ発行までの苦労も大変だったと思います。しかし、そうした記事の多様化や充実が読者を増やす原動力となっていると確信し、また、現在ではこの広報誌が県協会のホームページで、いつでも閲覧できるようになったのも隔世の感があります。

こうした取り組みを一つの契機とし、山形の子供たちが、かつての「バド王国山形」の第二ステージとして全国に向けて羽ばたくような、新たな方針を県協会役員一同が一丸となつて立て、実践してゆけば国体でも活躍し、二〇二〇年東京オリンピック出場選手を育てることも、夢ではないのではないのでしょうか。

これまで、広告にご協力いただいた各企業の皆様には心から感謝する次第です。また、広報誌発刊にあたり、寄稿していただいた方々、編集に携わっていただいた方々に改めてお礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

ホームページの立ち上げとデータの迅速化、情報の共有化に尽力！

第三代広報委員長 朝倉学

山形県バドミントン協会の関係者や指導者の方々、そしてなによりも現役プレーヤーを支えるサポーターの方々のおかげで、その熱い想いや記録、そして山形県バドミントン協会の取り組みを紙面やインターネットで多くの方々へ伝えることができました。

当時を振りかえると、

- (1) データ処理のデジタル化により作業の効率化をはかった。（電子メールによる原稿依頼やデータ送信、県内広報委員会組織を創設）
- (2) 印刷業者のサポートを受けながら広報誌紙面の充実をはかった。
- (3) 山形県内の各地区協会の活動や選手紹介を通じて、メッセージのある紙面とプレーヤーを応援する紙面、そして山形県バドミントン協会HPで、情報共有化を進めて記録データの即時性と正確さを目指した。などが思い起こされます。

前広報委員長：渋谷忠雄さん、事務局員：金子信江さんそして佐藤美代子事務局長をはじめ多くの方々の協力をいただいたおかげで、広報活動を進めることができました。

改めて感謝申し上げます。現在は高橋耕太郎広報委員長のもと、さらに充実した広報活動を展開中でございます。ご期待ください。

# 山口良典氏 叙勲祝賀会



平成二十七年二月十五日、山形グラ  
ンドホテルにおいて、初代広報委員長で、  
副会長などを歴任し、現山形県バドミン  
トン協会参与の山口良典氏の旭日双光章  
受賞の祝賀会が開催されました。当日は、  
バドミントン関係者のほか吉村山形県知  
事を始め国会・県会議員や業界関係者約  
二四〇名が参列し、山口氏の功績を讃え  
ました。

山口氏は、山形商業高等学校時代のイ  
ンターハイの優勝や就職後のでん六のス  
ポーツチームの指導、そして企業スポー  
ツ振興協議会やジュニアバドミントン育  
成会などスポーツを物心両面から支援・  
振興に尽力されました。

祝賀会では、発起人代表の前山形県バ  
ドミントン協会会長で現県体育協名誉  
会長の金森氏か  
ら挨拶が述べら  
れ、続いて現山  
形県バドミント  
ン協会会長で、  
でん六社長の鈴  
木隆一氏が、山  
口氏のスポーツ  
の意義や人と人



とのつながりを大切にする生き方、でん  
六に対する功績を述べられ、「妻の名を表  
彰状の裏に書く」の川柳を披露し挨拶を  
行いました。

また、吉村美栄子山形県知事、市川昭  
男山形市長、長谷川吉茂山形銀行頭取、  
山澤進(株)ヤマザワ会長が祝辞を述べられ、  
安達敏一山形県バドミントン協会副会長  
から記念品の贈呈が行われました。

これに対し、山口氏からは天皇陛下か  
ら叙勲を受ける際に「これからも日本の  
為に励むように」とのお言葉をいただい  
たことのほか山形商業高校の学校生活か  
ら始まったスポーツとの繋がりが、叙勲  
を励みに、今後ともスポーツを通して人  
材育成や地域の活性化に尽力していき  
たいとの感謝の言葉が述べられました。

山形芸妓連の祝舞のあと、清野伸昭山  
形商工会議所会頭から高らかに乾杯の発  
声のあと祝宴となりました。

祝宴では、県内の要職の方々やバドミ  
ントン関係者が一堂に会した形となり、  
昔の思い出話から今後の本県の発展まで  
熱い思いが語られ、会場は熱気に包まれ  
たものとなりました。叙勲祝賀会の席で  
は珍しいことですが、山形県シニアバド  
ミントン連盟齋藤孝子さんの指揮のもと、  
参加者全員で山形スポーツ県民歌を斉唱  
しましたことが印象的でした。

この祝賀会を通して関係者の絆の大切  
さと本県のスポーツ界そしてバドミント  
ン界のさらなる発展を願ったところでした。

高橋記



万歳  
早坂 孝氏



県民歌指揮  
齋藤 孝子氏



乾杯  
清野 伸昭氏



記念品贈呈  
安達 敏一氏



祝辞  
山澤 進氏



祝辞  
長谷川吉茂氏



祝辞  
市川 昭男氏



祝辞  
吉村美栄子氏



開会の挨拶  
鈴木 隆一氏



発起人  
金森 義弘氏

春の新商品

# グラムラ ナッツ

栄養素がたくさん！  
食物繊維  
ビタミンE  
鉄  
マグネシウム

グラノーラに無塩ナッツや  
ひまわりの種スナックを  
組み合わせた、栄養豊富な  
体にも嬉しいお菓子です。



株式会社 でん六 DENROKU  
山形市清住町3丁目2-45 〒990-8506 Tel.023-644-4423  
ホームページ <http://www.denroku.co.jp/>

# 会 の 活 動

## 山形

### 二〇一四年度山形地区 バドミントン協会の活動報告

広報担当 鶴 浦 啓

山形地区バドミントン協会では、主催・主管大会の運営、スポーツ少年団、中体連、高体連との連携、シニア連盟、レディース連盟、実業団連盟などとの連携によって、バドミントンの強化、普及に努めています。主催は個人戦から団体戦まで様々な企画の大会がありますが、今年度は、でん杯ミックスバドミントン大会についてご紹介いたします。大会名からも予想されるように一般の部は山形地区協会唯一のミックスダブルスの大会。今年も山形市内のみならず東根、鶴岡、米沢や宮城県などからの参加もあり、相変わらずの華やかなレベルの高い大会となりました。小学生の部もあり、四年生以上の男女別のダブルスの大会で、子供たちにとっても貴重な大会です。参加した選手の皆様は各カテゴリーで楽しく試合をすることができました。この大会にあたり参加賞をはじめ、三位以上に贈られる豪華賞品のご提供やでん六社員の皆様のご協力などをいただきました。長年山形のバドミントンの発展に多大なるご協力をいただいております株式会社でん六様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



## 新庄

### 「これが」を思ふ。 新庄地区バドミントン協会の「これ」

理事長 中 島 聡 明

全国的に生涯スポーツとして様々な競技団体が活動を行っているところですが、新庄地区でも例外に漏れず各競技団体が公的機関と連携して事業を行っています。当バドミントン協会も、レベルアップバドミントンコースの指導とタイアップし地区の強化事業も実施させていただいています。

最近では、競技のレベル強化において低年齢化が進んでいる様に感じます。昔のように中学校から始めたのでは、スポーツから経験してきた選手になかなか追いつけない。試合経験も少ない。私も協会としては、折角出逢ったバドミントンを、好きになってくれる様な指導を心がけて行かなければと考えて活動しています。また、小学生のレベルアップのため各スポーツ団体を集めての練習会も計画的に実施いたしました。

大会としては例年どおり、地域の企業とタイアップした大会や団体以降開催の愛好者大会、スキルアップにつながる大会、MIX大会、選手権大会等を実施しています。これからの課題としてですが、子供の数が少なくなる傾向にあり、中学校によっては団体を組めない所も出てきているようです。他の競技団体も同じ悩みを抱えています。新庄地区協会としては、小学校低学年から手厚くバドミントンの楽しさを伝えて、次々に下に繋がっていく様に事業を展開し競技人口を拡大していかなければと考えています。

来年度の五月から市営体育館の改修工事が始まり、例年どおりの事業が実施できなくなる事が予測される所です。他の団体も同様の悩みがあり苦慮しています。住み分けを上手く考え、地域のために出来るかぎりの事業を展開していけるように活動していかなければと考えています。



## 米沢

### 米沢バドミントン協会 「これ」

広報委員長 登 坂 雅 彦

米沢バドミントン協会は平成二十七年に設立六十五年になります。昭和二十四年に設立され、初代須佐吉徳、楡井寿澄、辻武蔵、遠藤清海、片野広、山口幸男、伊藤勉、近藤健二の会長で運営され、現在は鹿野昭男会長のもと委員会制度で運営しています。

各大会はそれぞれの委員会で運営され、その他に強化委員会、審判委員会、広報委員会が活動を行っています。役員総数は七十名ほどですが、各役員が協会の運営を担っている自覚を持っています。公認審判も数が増え大きな大会の場合は協会一体となり運営ができる体制となっています。

現在は初心者でバドミントンを始める人が減少しており、楽しいバドミントンを皆さんに知ってもらう活動を進めています。色々なスポーツが有り、個人の楽しみも多岐にわたっています。バドミントンは楽しいということを協会全体で伝えていきたいと思っています。



広報誌創刊号

# 協 区 地 各

## 鶴岡

「HPが広げよう」

鶴岡バドミントン協会の世界

広報副部長 舟 腰 磨結実

「ちよつと楽しそうだし、やってみよう」  
前任の遠藤氏の転勤により、気軽に引き受けたものの、とんでもない！

今は必死に、「最低限大会だけは掲載しよう」と、大会結果をもらった日に、必ず更新するように心がけています。仕事から開放される唯一の休日の日曜日にも、PCにかじりついていれば良いのですが、更新を先延ばしすると、つい更新せずに終わってしまいます。嗚呼、反省。

鶴岡では、年度初めの四月から七月まで、バドミントン愛好者は「ナイターバドミントン」の日々の結果に目が離せません。途中経過も含めHPが一番期待される所です。

八月市民総体。十一月鶴岡オープン。翌年一月第一日曜日開催の会長杯：これらの地区大会を中心に、試合結果の即日掲載を目標に努力しています。今後の展望：使える機器やノウハウをフル活用！

\*他地区のサイトのリンクを貼る。

\*毎年年度初めに、HPをリニューアル。来年もHPのホームの写真が一新します。

\*SNSのサイトを活用。FaceBookで、

みんなに「鶴岡バドミントン」をもっと知ってもらいたい。

是非他地区の皆さん！

一度と言わず何度でも、

鶴岡バドミントン協会HPにお立ち寄りください！



## 酒田

6年に一度の県総合選手権大会開催！

理事長 伊原 淳

世間は四年に一度の大イベントに沸いた一年でしたが、我々は六年に一度の県総合選手権大会の開催に精力を注ぎこみました。

他地区と違い大きな大会の主催、招致には縁がない酒田にとっては一大事。協会役員の中にも前回を知る者はわずかなっており、まさに手さぐり。昨春より各種大会の会場に足を運ぶとともにPC購入、大会運営ソフトの導入による地区大会運営など事前準備をすすめ、どうにか開催にこぎつけました。あとは肅々と試合を進めるだけ：と安心するのは甘く、熱戦に次ぐ熱戦はタイムテーブルを大幅に超え、体育館の閉館時間を過ぎるまでとなりました。大なり小なり不手際もありましたが役員の方々ははじめスタッフ、そして遠路参加下さった選手の皆様のご協力のおかげで成し遂げることができました。誌面をお借りして御礼申し上げます。

そんな中、時間も押してきて、高校生スタッフを帰宅させようとしたときに「もっと見ていたい、お手伝いしたい」との言葉がありました。交通機関や学校との関係から止む無く帰すこととなりましたが、色々な苦勞が報われた思いがしました。

実力では他地区に及びませんが意欲は引け取らない若者たちのためにも選手の皆様には次回も多くの熱戦、ナイスプレーをご披露いただきたくお願い申し上げます。

年度初めの県総合選手権は地区協会の運営面でも財産となりました。加えて今年度の活動にも活気を与えてくれたように思います。高校生を交えた大会の後には時間の許す限り高校生と社会人有志での練習会が行われるようになりました。ナイター以外でのチーム戦の企画が上がるなど試行錯誤は続きますが各事業の参加者数も少しずつではありますが増えつつあるようです。

六年後？いや、もしかしたら？また、酒田に多くの皆様のおいでをお待ち申し上げます。



Badminton / Tennis / Soft tennis

## ラケットショップ山形

TEL: 023-643-6238

住所: 〒990-2482  
山形県山形市久保田1丁目8-6

営業時間 AM9:00~PM20:00(平日)  
AM9:00~PM19:00(日曜・祝日)

定休日 毎週 水曜日

Practice, Practice, Practice All day, Everyday.

# 委員会報告

## ◆競技委員会

下記4大会の運営

- ・第39回山形県バドミントン総合選手権大会 H26.5.3(土) 酒田市国体記念体育館
- ・全日本シニア山形県予選会 H26.6.8(日) 山形県体育館
- ・第69回国体山形県予選会 H26.7.11(金)～13(日) 山形県総合運動公園
- ・JOC全日本ジュニア山形県予選会 H26.8.16(土) 山形県総合運動公園
- ・第7回山形県高校生あすなろバドミントン大会 H27.2.15(日) 山形県体育館

## ◆強化委員会

- 基礎強化～各地区、スポ少、中学校、高等学校の指導者対象のレベルアップ
  - ・強化委員会の開催 H26.7.13(日)、11.8(土)
  - ・ジュニア強化事業 H27.1.17(土) 山形県体育館
- ジュニア強化～全国ベスト8以上を目標に強化
  - ・ジュニアグランプリ強化練習会 H26.11.8(土)、16(日)
  - ・強化指定選手練習会 H26.12.13(土)、21(日)、H27.1.18(日)、2.22(日)、3.14(土)～15(日)
  - ・中学校・高校・一般研修大会 H27.2.21(土) 山形県体育館
  - ・東北・全国に向けた強化練習会 H26.7.26～27(日) 山形県体育館  
講師：佐々木翔選手
- 強化練習会～国民体育大会、東北選手権大会出場選手の強化
  - ・県内強化練習会 H26.8.10(日) 山形県体育館



佐々木翔選手による強化練習会

## ◆審判委員会

- 審判委員会の開催 H26.5.17(土)、H26.7.11(金)、H27.2.21(土)
- 公認審判員資格審査検定会  
県協会 H26.7.12(土)、7.19(土)、8.12(火)、山形地区 12.23(火)、1.12(月)、新庄地区 H26.6.15(日)、鶴岡地区 H26.9.7(日)、米沢地区 H26.4.20(日)、小学生連盟 H26.11.8(土)
- 東北三二国体(福島市、H26.8.23(土)～24(日))への審判員派遣 2名
- 各地区別審判員数(H27.2.23現在)

|    | 1級 | 2級 | 3級  | 準3級 | 計   |
|----|----|----|-----|-----|-----|
| 山形 | 10 | 16 | 108 | 134 | 268 |
| 新庄 | 3  | 3  | 30  | 36  | 72  |
| 酒田 | 2  | 0  | 12  | 14  | 28  |
| 鶴岡 | 2  | 3  | 88  | 93  | 186 |
| 米沢 | 12 | 7  | 72  | 91  | 182 |
| 合計 | 29 | 29 | 310 | 368 | 736 |



## ◆指導普及委員会・事業委員会

下記大会の開催支援

- N T T東日本バドミントン教室 H27.1.17(土) 山形県体育館
- 山形県高校生あすなろバドミントン大会 H27.2.15(日) 山形県体育館

## ◆高等学校体育連盟

- 県専門部理事会の開催 H26.4.18(金)、5.19(月)、10.15(水)
- 下記大会・研修会の開催・運営
  - ・県高校春季選手権大会 H26.4.26(土) (新庄市体育館)
  - ・県高校総体 H26.6.6(金)～8(日) (米沢市営体育館、米沢工業高校体育館)
  - ・県定時制通信制大会 H26.6.21(土) (米沢工業高校体育館)
  - ・県高等学校新人大会 H26.11.1(土)～2(日) (山形県総合運動公園体育館)
  - ・ジャワ杯高校選手権大会 H26.11.23(日) (山形市立商業高等学校)
  - ・全国高校選抜東北地区予選会 H27.1.22(木)～25(日) (小真木原総合体育館)
  - ・指導者研修会 H27.2.11(水) (山形県体育館)
  - ・第7回県高校生あすなろバドミントン大会 H27.2.15(日) (山形県体育館)

## ◆中学校体育連盟

- 県専門部会開催 H26.5.30(金)、9.9(火)
- 下記大会の開催・運営
  - ・県中学校体育大会 H26.7.18(金)～20(日) (山形市総合スポーツセンター)
  - ・県新人体育大会 H26.10.18(土) (山形県体育館)
  - ・県ラケットショップ杯1年生大会 H27.1.12(月) (山形市総合スポーツセンター)
- 強化練習会の開催 H26.7.26(土)～27(日) (小真木原総合体育館)



# 連盟報告

## ◇小学生連盟

- 下記大会の開催・運営
  - ・小学生ABC大会県予選会 H26.4.27(日) (山形県体育館)
  - ・若葉カップ全国小学生大会県予選会 H26.6.8(日) (置賜生涯学習プラザ)
  - ・県小学生学年別選手権大会 H26.8.24(日) (山形県体育館)
  - ・小学生ダブルス大会 H26.9.20(土) (山形県体育館)
  - ・県少年少女スポーツ交流大会 H26.10.5(日) (置賜生涯学習プラザ)
  - ・県スポーツ少年団交流大会 H26.11.30(土) (新庄市体育館)
  - ・県小学生シングルス大会 H27.2.14(土) (山形県体育館)
- 強化練習会開催 H26.12.7(土)～8(日)、H27.3.21(土)

## ◇教職員連盟

- ・バドミントンチャンピオンシップイン山形の開催 H27.2.21(土) (山形市総合スポーツセンター)

## ◇シニア連盟

- ・山形市長杯シニアオープン大会の開催 H26.4.5(土)～6(日) (山形市総合スポーツセンター)
- ・ジャワ杯山形県シニアMIXバドミントン団体戦大会の開催 H26.9.21(日) (山形県体育館)
- ・山形県シニアバドミントン大会団体戦の開催 H26.11.16(日) (寒河江市体育館)

## ◇レディース連盟

- 下記大会の開催
  - ・ヨネックス杯 全日本レディース選手権大会県予選会 H26.4.13(日) (山形県体育館)
  - ・高橋杯山形県レディース大会 H26.6.1(日) (山形県体育館)
  - ・東北地区レディース大会県予選会兼さくらんぼ杯県大会 H26.9.7(日)、9.13(土) (山形県体育館)
- 強化練習会の開催 H26.9.15(月) (東北マークス選手団講習会)
- 全国大会選手強化練習会の開催 H25.7.5(土)

### 平成25年度 収支決算報告

#### 1 一般会計

|        |          |            |
|--------|----------|------------|
| 収入     | 繰越金・会費他  | 1,002,531円 |
| 支出     | 事業費      | 500,000円   |
|        | 小学生連盟へ   | 400,000円   |
|        | 各地区連盟へ   | 100,000円   |
|        | 会議費・事務費他 | 356,338円   |
| 次年度繰越金 |          | 137,193円   |

#### 2 特別会計

|        |                     |            |
|--------|---------------------|------------|
| 収入     | 繰越金                 | 1,500,000円 |
| 支出     | 事業費                 | 1,000,000円 |
|        | (全国小学生バドミントン大会へ賛助金) |            |
| 次年度繰越金 |                     | 500,000円   |

当会は、平成十年四月に山形県におけるジュニアバドミントン競技の健全な普及及び振興を図り、あわせてジュニア層の健康と体力の育成を目的とし賛同する人達で組織され発足しました。

今年で十七年目を迎え、昭和三十年代の「バドミントン王国、山形」を県下役員一丸となって復活させるべく、全国大会に通じる選手を育てると共に、「大きな夢・オリンピック出場」の実現に向けて、皆様の協力を得て頑張っております。

当育成会は、皆様の会費により運営させていただいております。本年度も東北小学生大会を勝抜いて、第二十三回全国小学生バドミントン選手権大会に出場した、七名の選手に激励金を送り活躍をしていただきました。

今後とも本県ジュニア選手の育成そして「バドミントン王国・山形」実現のため、より一層のご理解・ご支援をよろしく申し上げます。



山形県ジュニアバドミントン  
育成会からの伝達  
事務局長 富樫政利

**Java Sports**  
山形市大日町7-28

当店

山形市役所 セーブオン 遊学館

広い店舗と豊富な品ぞろえ  
専門スタッフのアドバイスで  
たのしいショッピング♪

♪地域のスポーツ情報満載!  
♪耳より、おすすめ商品情報も満載!  
♪イベント情報も満載!

**Java Sports** ジャワスポーツ  
山形市大日町7-28  
TEL 023-633-0333  
<http://www.sports-nakama.com/java-sports>

# NTT東日本パドミントン教室開催!!

広報副委員長 加藤 岳

十二年連続十三回目になるNTT東日本パドミントン教室が一月十七日(土)に山形県体育館にて開催されました。

教室には小学生から高校生までの各少年団の選抜選手や県強化指定選手たち約一二〇名が参加し、日本リーグにおいて男子十八回目、女子は初優勝と輝かしいダブル優勝を成し遂げ、お祝いムードと共に激しいリーグ戦を戦った実践者たちからの指導を受けました。開会時は緊張からかおとなしい選手たちでしたが、フットワーク、基本練習、交代式シングルス、ダブルス、トリプルスなどと進むうちに熱が入り、元気な声が会場を満たしていました。チャレンジマッチでは三種目で中学生が勝利を収める活躍、山形のレベル向上を感じられた一日でした。

## ◎町田アドバイザーのお話



日本リーグ優勝は、緒戦の敗戦、悔しさを糧に諦めない姿勢がもたらしたと思う。

山形の子供たちは、元気があり意欲的、どうかしようという気持ちを感じられる。

今日という日をきっかけにして欲しい。いつか気づくときがくる。本当に強くなるには技術そしてメ

ンタルの強化が必要でしょう。

## ◎川前選手(ロンドンオリンピック出場)のお話



地域差は強く感じないが、女の子が今日だけかもしれないがおとなしい印象。レディースが参加する県もあり、レディースの積極性は凄い。青森県はレベルが高い。

## ◎松丸キャプテン(小柄ながら小中高の日本一)



小柄な子供たちにエール。高い打球を活用しつつ、ドライブ戦に持ち込みたい。大きい選手が下や横から打つシャトルを上から打てる。小柄だからこそその利点があることを意識しよう。



### ヨネックス杯・ラケットショップ杯

## 第7回山形県高校生あすなろバドミントン大会

高校からラケットを握った生徒に出席資格を限定し、切磋琢磨することを目的に開催されている大会も、七回目を迎えました。二月十五日に山形県体育館で、熱戦が繰り広げられました。

### ◎男子ダブルス 山形工業高等学校

成績を残すことができました。

原谷 瑠唯(写真右)

今日は、スマッシュが浮いていたことが反省点ですが、優勝できて満足です。これからも基礎練習をがんばって、レシーブ力や、ネット前の動きのレベルを上げたいです。

原田 泰英(写真左)

米山杯で成績を残せたので、この大会も上位入賞をねらっていました。走りこみやスマッシュの練習の自主トレや、筋トレも取り入れました。予選リーグではなかなか動けなくて大変だったけど、優勝できてうれしいです。

### ◎男子シングルス 新庄南高等学校 五十嵐一喜

今日はミスもありましたが、ねらったコースに決めることができ、楽しかったです。経験者の出場する大会でも、上位に入賞したいです。

### ◎女子ダブルス 丸里学園高等学校

優勝を目標にがんばりました。

高瀬 結耶(写真右)

最初は調子が出なかったのですが、お互いに声をかけたリ、アドバイスをもらい、いつもどおりの試合が出来ました。優勝したことを、先生やコーチ、家族に伝えたいです。これからの目標は、地区の高体連でのベスト4に入賞です。

黒川真奈穂(写真左)

決勝トーナメントでは、あせらず、いつもの自分たちの試合をすることができましたが、これからは、もっとミスを少なくしたいです。学校のみならず、優勝したことを伝えたいです。

### ◎女子シングルス 新庄南高等学校 門脇 香奈

これからも、苦手なことを克服してがんばります。

予選リーグでは、思うような試合ができませんでしたが、決勝トーナメントでは声もだせて、優勝できすっきりしました。これからは、ラケットワーク等の技術を上げていきたいです。優勝したことを、先輩や応援してくれた姉に伝えたいです。

これからも自分の目標に向かって、がんばってほしいと思います。みなさん、おめでとございませう。

金子記

# 大会記録

## 県大会

引ネツク杯第三十二回全日本レイスバドミントン選手権大会  
第二十二回都道府県対抗第十六回クラブ対抗山形県予選会  
(二〇一四・四・十三 山形県体育館)

●都道府県対抗の部◎四十歳以上 (二位) 全国大会出場

- 一位 菅原 智江・沼澤 宏子 (J.S.T.O)
- 二位 高橋 幸子・石井 和子 (鶴岡バドミントンOB会)
- 三位 秋庭 郁子・上村 美加 (鶴岡バドミントンOB会)

●五十歳以上(一位) 二位 全国大会出場

- 一位 佐藤美代子 (ワイナース)
- 二位 柴田美恵子・佐藤栄美子 (L・G・B)
- 三位 加藤喜美子・佐藤加代子 (鶴岡ウィングス)

●クラブ対抗の部(一位) 全国大会出場

- 一位 A.L.L.ダイヤモンド (鶴岡)
- 二位 四ツ葉クラブ (山形)
- 三位 酒田L・B・C (酒田)

山形県高校春季選手権大会  
(二〇一四・四・二十六 新庄市体育館)

●男子ダブルス

- 一位 渋谷 光希・後藤 駿斗 (鶴岡工業)
- 二位 林 泰成・大沼 琢弥 (山本学園)
- 三位 玉川 聖輝・五十嵐洋介 (鶴岡工業)

●男子シングルス

- 一位 菅原 理央 (鶴岡工業)
- 二位 玉川 聖輝 (鶴岡工業)
- 三位 後藤 駿斗 (鶴岡工業)

●女子ダブルス

- 一位 伊藤 由季・村山明日香 (山形城北)
- 二位 伊藤 千里・佐藤 結香 (山形商業)
- 三位 村山 晴香・菅 夏澄 (山形城北)

●女子シングルス

- 一位 安部菜美子 (長井)
- 二位 青木 望 (山本学園)
- 三位 伊藤 由季 (山形城北)

●男子シングルスA

- 一位 赤松大志吉 (山口)
- 二位 島貫 陽仁 (ふじかけ)
- 三位 門脇 令 (鶴岡城北)

●男子シングルスB

- 一位 大場 世風 (山口)
- 二位 佐藤 直紀 (大山)
- 三位 難波 魁凌 (致道)

●男子シングルスC

- 一位 佐藤 愛翔 (大山)
- 二位 佐藤 康時 (いっき)
- 三位 原田 美唯 (ふじかけ)

●女子シングルスA

- 一位 志田 真倅 (立川)
- 二位 土門 海音 (立川)
- 三位 鈴木 育美 (大山)

- 女子シングルスB
- 一位 遠藤 心夏 (上山)
- 二位 小野 輝莉 (鶴岡JBC)
- 女子シングルスC
- 一位 吉田 芽依 (上山)
- 二位 榎本 美優 (愛宕テイエ)
- 三位 松田 光歩 (立川)

山形県総合選手権大会  
(二〇一四・五・三 酒田記念体育館)

●男子ダブルス

- 一位 長谷川圭太・安部 惇士 (米沢)
- 二位 齋藤 俊平・市村 渉 (山形)
- 三位 佐藤 俊博・富澤 拓 (新庄)

●男子シングルス

- 一位 伊藤 大 (山形)
- 二位 塚本 雄基 (山形)
- 三位 遠藤 保樹 (鶴岡)

●女子ダブルス

- 一位 鈴木 花織・安部優衣子 (山形)
- 二位 原西 伊藤愛 (山形)
- 三位 安部菜美子・高橋 美咲 (米沢)

●女子シングルス

- 一位 鈴木 花織 (山形)
- 二位 高橋 麻耶 (山形)
- 三位 大沼友里愛 (山形)



平成二十七年二月十四日(土) 山形県体育館  
第二十二回  
山形県小学生バドミントン選手権大会

二月十四日山形県体育館にて、今年度の小学生大会の最後を締めくくる、県小学生シングルス大会が行われました。六年生にとっては、小学生として出場する最後の大会で

もありです。雪の中、一年生から六年生まで、コートの中で熱い戦いが繰り広げられました。優勝した皆さんに、「今年特になんばった練習」を聞いてみました。

### 1年生

女子

石沢 太一 (ふじかけ)

「ねらった所に羽を打つこと」

男子

山川 恵実 (ふじかけ)

「バックハンドの練習」

### 2年生

女子

佐藤 愛翔 (天出)

「バックをねらうこと。クロスカット」

男子

榎本 美優 (愛宕テイエ)

「一年生の時出来なかったことをがんばった」

### 3年生

女子

今田 竜大 (竜飛B.C)

「フォアとバックのカットレシーブ」

男子

佐々木美輝 (美壽野B.C)

「相手のスマッシュをやわらかく返すこと」

### 6年生

女子

赤松大志吉 (山口)

「フットワークの基本やダッシュ。クロスネットを確実に返すこと」

男子

原田 美唯 (ふじかけ)

「どんな状況でもラリーを続けること。単純なミスが減らすこと」

### 5年生

女子

志田 真倅 (立川)

「バック側のレシーブ。速いフットワークを意識してきた」

男子

島貫 陽仁 (ふじかけ)

「フリーノックの練習やネット前へアピン」

### 4年生

女子

大場 世風 (山口)

「バック一点返しの練習」

男子

遠藤 心夏 (立川)

「フェイントで追い込まれてもレシーブができるようにすること」

高橋杯第十回山形県レディーズバドミントン大会  
(二〇一四・六・一) 山形県体育館

●Aブロック  
一位 佐藤美代子・板垣 尚美  
二位 芳賀 晃子・清野 香代(ワイナス)  
三位 安部 雅子・三澤 陽子(ワイナス)

●Bブロック  
一位 白川 合子・青木絵衣子(ワイナス)  
二位 佐藤 奈美・大友 幸子(ワイナス)  
三位 金子ひろみ・高橋 幸子  
(ZAOフレンズ・F・M・C)

●Cブロック  
一位 佐藤 明美・柏倉 康子(じらとり)  
二位 沼澤 宏子・鈴木 節子(じらとり)  
三位 斎藤 泉・会田 直子  
(ZAOフレンズ)

●Dブロック  
一位 工藤ちよ子・佐藤 敏子(じらとり)  
二位 永岡 秀子・小関 淳子  
(マリイゴールド・米沢アイリス)

●Eブロック  
一位 齋藤 孝子・小沢 町子  
(ひまわり・霞城の友スポーツ愛好会)  
二位 田村 正恵・長澤 美幸  
(ZAOフレンズ)

●男子シングルス  
一位 林 泰成(山本学園)  
二位 後藤 駿斗(鶴岡工業)  
三位 玉川 聖輝(鶴岡工業)

●女子学校対抗  
一位 山形城北  
二位 山形商業  
三位 鶴岡北・山形西

●男子ダブルス  
一位 玉川 聖輝・五十嵐洋介(鶴岡工業)  
二位 伊藤 駿・藤井 啓(山形南)  
三位 渋谷 光希・後藤 駿斗(鶴岡工業)

●女子シングルス  
一位 伊藤 由季(山形城北)  
二位 青木 望・飯野 楓(山本学園)  
三位 伊藤 千里・佐藤 結香(山形商業)

●女子ダブルス  
一位 伊藤 由季・村山明日香(山形城北)  
二位 安部菜美子(長井)  
三位 村山 可純(山形城北)

●男子団体  
一位 山口バドミントンスポーツ少年団  
二位 ふじかけバドミントンスポーツ少年団

●女子団体  
一位 ふじかけバドミントンスポーツ少年団  
二位 南部シャトルスポーツ少年団  
三位 長井バドミントンJ・S・C  
四位 愛宕テニオバドミントンスポーツ少年団

●男子団体  
一位 山口バドミントンスポーツ少年団  
二位 ふじかけバドミントンスポーツ少年団

●女子団体  
一位 ふじかけバドミントンスポーツ少年団  
二位 南部シャトルスポーツ少年団  
三位 長井バドミントンJ・S・C  
四位 愛宕テニオバドミントンスポーツ少年団

●少年男子ダブルス  
一位 玉川 聖輝(鶴岡工業)  
二位 菅原 理央(鶴岡工業)  
三位 林 泰成(山本学園)

●少年男子シングルス  
一位 伊藤 駿・藤井 啓(山形南)  
二位 遠藤 裕二・鈴木 将也(山本学園)  
三位 澁谷 光希・後藤 駿斗(鶴岡工業)

●成年男子ダブルス  
一位 五十嵐 優(中央大学)  
二位 大山 琢也(法政大学)  
三位 原田 雄基(山形)

●成年男子シングルス  
一位 五十嵐 優(中央大学)  
二位 大山 琢也(法政大学)  
三位 原田 雄基(山形)

●三十年代男子ダブルス  
一位 遠藤 保樹(鶴岡市シルバー人材センター)  
二位 柳沢 健史(庄内地区健康管理センター)  
三位 柳沢 健一(シーセミシングタクタ山形)

●三十年代男子シングルス  
一位 遠藤 保樹(鶴岡市シルバー人材センター)  
二位 柳沢 健史(庄内地区健康管理センター)  
三位 柳沢 健一(シーセミシングタクタ山形)

●四十代男子ダブルス  
一位 小野 和之(鶴岡工業高教員)  
二位 富樫 宗(鶴岡市消防署)  
三位 中澤 正幸(株丸定)

●四十代男子シングルス  
一位 小野 和之(鶴岡工業高教員)  
二位 富樫 宗(鶴岡市消防署)  
三位 中澤 正幸(株丸定)

●五十代男子ダブルス  
一位 上林 英樹(損保ジャパン)  
二位 安孫子啓一(山形地区協会)  
三位 有路 幸一(損害保険リサーチ)

●五十代男子シングルス  
一位 上林 英樹(損保ジャパン)  
二位 安孫子啓一(山形地区協会)  
三位 有路 幸一(損害保険リサーチ)

●六十代男子ダブルス  
一位 伊藤 由季・村山明日香(山形城北)  
二位 伊藤 千里・佐藤 結香(山形商業)  
三位 村山 晴香・菅 夏澄(山形城北)

●六十代男子シングルス  
一位 伊藤 由季・村山明日香(山形城北)  
二位 伊藤 千里・佐藤 結香(山形商業)  
三位 村山 晴香・菅 夏澄(山形城北)

●成年女子ダブルス  
一位 秋庭みのり(東日本国際大学)  
二位 笹原 花織(株でん六)  
三位 笹原 希(長井協会)

●成年女子ダブルス  
一位 鈴木 花織・安部優衣子(株でん六)  
二位 秋庭みのり・川越 優奈(東日本国際大学)  
三位 高橋 麻耶(東北福祉大OG)  
四位 齊藤真優子(東北福祉大学)

●四十代女子ダブルス  
一位 菅原 智恵・沼澤 宏子(じらとり)  
二位 丸山 勝美(鶴岡市役所)  
三位 小関 勝也・小関カイロプラクティック

●五十代女子ダブルス  
一位 小関 勝也・小関カイロプラクティック  
二位 佐藤美代子(新庄協会)

●山形県中学校総体  
(二〇一四・七・十八・二十)  
山形市総合スポーツセンター

●男子団体  
一位 鶴岡二中  
二位 山形七中  
三位 米沢二中  
四位 鶴岡一中

●男子ダブルス  
一位 近藤 直希・遠藤 黎(米沢二中)  
二位 柿崎 俊樹・長山 大梧(日新中)  
三位 五十嵐功一・佐藤 輝樹(鶴岡四中)  
四位 伊藤 駿平・佐藤 涼太(山形七中)

●男子シングルス  
一位 牛野 晃太(長井北中)  
二位 小野 優真(鶴岡二中)  
三位 佐藤 総飛(鶴岡二中)  
四位 赤木 優佑(米沢二中)

●女子団体  
一位 日新中  
二位 天童一中  
三位 山形三中  
四位 天童四中

●女子ダブルス  
一位 大石 優姫・佐藤 音々(天童一中)  
二位 石川 佳奈・櫻井 紗和(立川中)  
三位 青柳 朱音・滝口 莉彩(天童四中)  
四位 本間 優芽・小関 萌花(日新中)

●女子シングルス  
一位 花輪 祥子(天童一中)  
二位 名村 怜(真室川中)  
三位 大沼友里愛(天童三中)  
四位 長塚 葵衣(山形二中)

●JOC全日本ジュニア山形県予選会  
(二〇一四・八・十六) 山形県総合運動公園

●ジュニア男子ダブルス  
一位 澁谷 光希・後藤 駿斗(鶴岡工業)  
二位 遠藤 裕二・鈴木 将也(山本学園)  
三位 金子 智季・山本 祐真(鶴岡工業)  
四位 菅原 理央・伊藤 大河(鶴岡工業)

●ジュニア女子ダブルス  
一位 伊藤 千里・佐藤 結香(山形商業)  
二位 小野 萌香・守谷 仁見(山形商業)  
三位 菅原 美里・高野 志保(鶴岡北高)  
四位 村山 可純・高橋 七瀬(山形城北)

●ジュニア男子シングルス  
一位 伊藤 千里・佐藤 結香(山形商業)  
二位 小野 萌香・守谷 仁見(山形商業)  
三位 菅原 美里・高野 志保(鶴岡北高)  
四位 村山 可純・高橋 七瀬(山形城北)

ASAYA  
あさや  
バドミントンプラザ 麻屋  
〒992-0039 米沢市門東町1-2-64  
TEL 0238-23-1196 FAX 0238-23-1138  
ガット張り即日致します(予約優先制)  
090-8616-1196(予約用)

T'SPORT  
タカハシスポーツ  
ジャストフィット宣言  
スポーツギアは、人が使ってはじめて威力を発揮するもので、それ自体では何の役にも立ちません。人が使うことによって力を出すものだからこそ、ピッタリのモノを選んでさしあげるべきだと想います。  
T'SPORTは、頑張るバドミントン選手の応援団！  
〒996-0071 新庄市小田島町2-56 是非一度アクセスして下さい！  
TEL 0233-22-0377 FAX 22-0357 <http://www.sports-takasaka.com/t'sport>  
e-mail: taka\_sport@b2info.ne.jp

- ジュニア男子シングルス
  - 一位 菅原 理央 (鶴岡工業)
  - 二位 後藤 駿斗 (鶴岡工業)
  - 三位 瀧谷 光希 (鶴岡工業)
  - 山本 祐貴 (鶴岡工業)
- ジュニア女子シングルス
  - 一位 安部菜美子 (長井高)
  - 二位 村山 結香 (山形商業)
  - 三位 花輪 可純 (山形城北)
- ジュニア新人男子シングルス
  - 一位 赤木 優佑 (米沢三中)
  - 二位 遠藤 黎 (米沢四中)
  - 三位 山口 湧大 (天童四中)
- ジュニア新人女子シングルス
  - 一位 大沼友里愛 (天童三中)
  - 二位 三上 菜月 (南原中)
  - 三位 佐藤 寧音 (山形六中)
- 県小学生学年別選手権大会兼東北大会兼予選会 (二〇一四・八・二十四 山形県体育館)
  - 四年生以下男子シングルス
    - 一位 大場 世風 (山口)
    - 二位 難波 魁凌 (致道)
    - 三位 今田 篤大 (奥羽JBC)
  - 五年生以下男子シングルス
    - 一位 島貫 陽仁 (ふじかけ)
    - 二位 門脇 令 (鶴岡城北)
    - 三位 山口 陽輝 (奥羽JBC)
  - 六年生以下男子シングルス
    - 一位 伊藤 楓也 (長井JSC)
    - 二位 赤松大志吉 (山口)
    - 三位 鈴木 慶也 (鶴岡JBC)
  - 四年生以下女子シングルス
    - 一位 遠藤 心夏 (上山ジュニア)
    - 二位 小野 輝莉 (鶴岡JBC)
    - 三位 清野 鈴香 (ふじかけ)
  - 五年生以下女子シングルス
    - 一位 志田 真侔 (立川)
    - 二位 太田 咲 (天童市)
    - 三位 今田ひなた (奥羽JBC)
  - 六年生以下女子シングルス
    - 一位 原田 美唯 (ふじかけ)
    - 二位 鈴木 育美 (大山)
    - 三位 土門 海音 (立川)
  - 四年生以下男子ダブルス
    - 一位 佐藤 直紀・小林 隼人 (大山)
    - 二位 三浦 寛生・中川 煌 (沼田)
    - 三位 本間 大煌・佐藤 昌樹 (鶴岡八学区)
  - 五年生以下男子ダブルス
    - 一位 大林 大河・青柳 達也 (山口)
    - 二位 高橋 直希・渋谷 啓騎 (ふじかけ)
    - 三位 佐々木志穂・渡会 康生 (いつき)
  - 六年生以下男子ダブルス
    - 一位 佐藤 勝大・中川 楓磨 (沼田)
    - 二位 長塚 拓弥・梁瀬 要 (ふじかけ)
    - 三位 青木 翔・早川 拓真 (長井JSC)
  - 四年生以下女子ダブルス
    - 一位 清野 千里・佐々木美羅 (米沢南部JSC)
    - 二位 小林 真奈・松田 光歩 (立川)
    - 三位 齋藤なごみ・菅原 心路 (致道)

- 五年生以下女子ダブルス
  - 一位 齋藤 梓・齋藤 華那 (日新)
  - 二位 原 環・田中 杏奈 (米沢南部)
- 六年生以下女子ダブルス
  - 一位 石沢ひかる・大山 珠莉 (ふじかけ)
  - 二位 梅津 茉那・加藤 綾菜 (長井JSC)
  - 三位 鈴木 華乃・高橋ひかる (天童市)
- さくらんぼ杯山形県レディースパドミントン連盟大会 (二〇一四・九・七・十三 山形県体育館)
  - 一部
    - 一位 鶴岡パドミントンOB会
    - 二位 ヴィーナス
  - 二部
    - 一位 クイーンクラブ
    - 二位 ALLダイヤモンドス
    - 三位 マリーゴールド
  - 交流の部
    - 一位 クイーンクラブ
    - 二位 米沢アイリス
    - 三位 ももぐみ
  - 三部
    - 一位 柴田美恵子 (L・G・B)
    - 二位 工藤ちよ子 (しらとり)
    - 三位 小沼由美子 (城北クラブ)
- 東海林功子(霞城の友スポーツ愛好会) 第八回山形県小学生パドミントンダブルス大会 (二〇一四・九・二〇 山形県体育館)
  - 男子ダブルス
    - 一位 伊藤 楓也・赤松大志吉 (長井JSC・山口)
    - 二位 佐藤 勝大・中川 楓磨 (沼田)
    - 三位 梁瀬 要・島貫 陽仁 (ふじかけ)
  - 女子ダブルス
    - 一位 梅津 茉那・加藤 綾菜 (長井JSC)
    - 二位 土門 海音・志田 真侔 (立川)
    - 三位 岩田 祐依・栗田 陽菜 (南部シャトル)
- 山形県中学生新人大会 (二〇一四・十・十八 山形県体育館)
  - 男子団体
    - 一位 鶴岡第一中
    - 二位 山形第一中
    - 三位 山形第二中
  - 女子団体
    - 一位 天童第三中
    - 二位 天童第四中
    - 三位 鶴岡第三中
  - 男子シングルス
    - 一位 赤木 優佑 (米沢三中)
    - 二位 安達 大拓 (鶴岡四中)
    - 三位 山口 湧大 (天童四中)
  - 女子シングルス
    - 一位 遠藤 黎・小崎 樹一 (米沢二中)
    - 二位 五十嵐功一・佐藤 輝樹 (鶴岡一中)
    - 三位 大友 雄祐・木村 優理 (天童一中)
  - 女子シングルス
    - 一位 シンブル
    - 二位 大沼友里愛 (天童三中)

- 三位 吉田 有希 (上山南中)
- 女子ダブルス
  - 一位 青柳 朱音・滝口 莉彩 (天童四中)
  - 二位 野口 綾音・佐藤明々花 (鶴岡三中)
  - 三位 竹村 瑠菜・情野 稚菜 (米沢二中)
- べにばな団体記念山形県愛好者大会 (二〇一四・十・二十六 新庄市体育館)
  - 団体Aクラス
    - 一位 イッシーズカフェ
    - 二位 あすなろクラブ
    - 三位 酒田パドミントンホールディングス
  - 団体Bクラス
    - 一位 T.E.A.M.王将
  - 団体Cクラス
    - 一位 えいこんず
    - 二位 城北まどか
    - 三位 スワロウエンゼルス
  - 団体Dクラス
    - 一位 東沢B.C
    - 二位 血みどろ
    - 三位 南風
  - 団体Eクラス
    - 一位 朝日S・C (A)
    - 二位 ミックスクラブ
    - 三位 セカンド・クラブ
  - カネコ大会
    - 一位 朝日S・C (A)
    - 二位 ミックスクラブ
    - 三位 セカンド・クラブ
  - 山形県高校新人大会 (二〇一四・十一・一二 県総合運動公園)
    - 男子学校対抗
      - 一位 鶴岡工業
      - 二位 山本学園
      - 三位 新庄南・山形南
    - 女子学校対抗
      - 一位 鶴岡工業
      - 二位 山本学園
      - 三位 山形商業・山形城北
    - 男子ダブルス
      - 一位 大沼 琢弥・鈴木 将也 (山本学園)
      - 二位 岡田 樹・鎌田 圭介 (山形南)
      - 三位 菅原 理央・山本 祐貴 (鶴岡工業)
    - 女子ダブルス
      - 一位 菅原 光希・後藤 駿斗 (鶴岡工業)
      - 二位 光希・後藤 駿斗 (鶴岡工業)
    - 男子シングルス
      - 一位 伊藤 千里・佐藤 結香 (山形市商)
      - 二位 菅原 美里・高野 志保 (鶴岡北)
      - 三位 村山 可純・高橋 七瀬 (山形城北)
    - 女子シングルス
      - 一位 小野 萌香・守谷 仁見 (山形商業)
      - 二位 菅原 光希 (鶴岡工業)
      - 三位 後藤 駿斗 (鶴岡工業)
    - 女子シングルス
      - 一位 安部菜美子 (長井)
      - 二位 五十嵐香澄 (鶴岡工業)
      - 三位 赤木 駿哉 (米沢工業)
    - ジャワ杯県高等学校大会 (二〇一四・十一・二十三 山形商業体育館)
      - 男子
        - 一位 山本学園

# TUNE YOUR ENERGY



世界初、1本で7つの性能にチューニング。

パワーと操作性を両立する「トライボルトーンシステム」に連続グロメットを装着することでパワーを増量。さらに、フレームの重量配分を調整可能にする「E-チューン」を搭載。コントロール重視とスピード重視の2タイプのパーツを装着することで、世界初7つの性能へのチューニングが可能とした。プレースタイルに合わせて自分好みにカスタムできる「ボルトリック 70E-チューン」で、さらなるパワーを手に入れる。



VOLTRIC 70 E-tune

ENERGY tune



※1本で7つの性能へのチューニングは可能。各パーツの重量配分は調整可能。各パーツの重量配分は調整可能。各パーツの重量配分は調整可能。

- 二位 鶴岡工業
- 三位 山形商業
- 米沢工業
- 女子
- 一位 山形城北
- 二位 山本学園
- 三位 鶴岡北
- 山形西

山形県スポーツ少年団交流大会  
(二〇一四・十一・三十 新庄市体育館)

- 六年生以下男子シングルス
- 一位 赤松大志吉 (山口)
- 二位 伊藤 楓也 (長井JSC)
- 三位 鈴木 慶也 (鶴岡JBC)

- 六年生以下男子ダブルス
- 一位 赤松大志吉・大林 大河 (山口)
- 二位 長塚 拓弥・梁瀬 要 (ふじかけ)
- 三位 佐藤 勝大・中川 楓磨 (沼田)

- 六年生以下女子シングルス
- 一位 原田 美唯 (ふじかけ)
- 二位 土門 海音 (立川)
- 三位 鈴木 育美 (大山)

- 六年生以下女子ダブルス
- 一位 梅澤 芙那・加藤 綾菜 (長井JSC)
- 二位 石沢 ひかる・原田 美唯 (ふじかけ)
- 三位 土門 海音・志田 真倅 (立川)

- 五年生以下男子シングルス
- 一位 大場 世風・赤松大志吉 (山口)
- 二位 鳥貴 陽仁・高橋 直希 (ふじかけ)
- 三位 佐々木志穂・渡会 康生 (いつき)

- 五年生以下女子シングルス
- 一位 太田 咲・阿部 凜 (天童市)
- 二位 若野 愛里・中島 華那 (日新)
- 三位 原 環・田中 杏奈 (米沢南部JBC)

ラケットショップ杯山形県中学生大会  
(二〇一五・十二 山形市総合スポーツセンター)

- 男子シングルス
- 一位 五十嵐光海 (鶴岡一中)
- 二位 高橋 翔馬 (白鷹四中)
- 三位 小野 剛嗣 (山形三中)
- 渡邊 大智 (山形二中)

- 男子ダブルス
- 一位 武市 成義・安達 哲太 (鶴岡二中)
- 二位 堀 春樹・坂本 元春 (山形七中)
- 三位 濂谷 文騎・佐藤 拓海 (山形二中)
- 小松 勇太・丹 皓亮 (天童二中)

- 女子シングルス
- 一位 庄司 晴香 (天童三中)
- 二位 狩野さくら (天童一中)
- 三位 清野 優香 (山形十中)
- 原 舞華 (天童三中)

- 女子ダブルス
- 一位 井澤 未来・須藤ほのか (天童二中)
- 二位 阿部 捺未・小林 美海 (鶴岡一中)
- 三位 柿崎 真紀・金田 莉奈 (新庄中)
- 松田 愛・小林 優衣 (明倫中)

山形県小学生シングルス大会  
(二〇一五・二・十四 山形県体育館)

- 六年生以下男子シングルス
- 一位 赤松大志吉 (山口)

- 二位 中川 楓磨 (沼田)
- 三位 三浦 瑠馬 (鶴岡城北)
- 六年生以下女子シングルス
- 一位 原田 美唯 (ふじかけ)
- 二位 鈴木 育美 (大山)
- 三位 土門 海音 (立川)
- 五年生以下男子シングルス
- 一位 鳥貴 陽仁 (ふじかけ)
- 二位 門脇 令 (鶴岡城北)
- 三位 山科 陽翔 (奥羽JBC)
- 五年生以下女子シングルス
- 一位 志田 真倅 (立川)
- 二位 今田 なた (奥羽JBC)
- 三位 太田 咲 (天童市)
- 四年生以下男子シングルス
- 一位 大場 世風 (山口)
- 二位 難波 魁凌 (致道)
- 三位 佐藤 直紀 (大山)
- 四年生以下女子シングルス
- 一位 遠藤 心夏 (上山ジュニア)
- 二位 小野 輝莉 (鶴岡JBC)
- 三位 山川 歩乃果 (南部シャトル)
- 三年生以下男子シングルス
- 一位 今田 颯大 (奥羽JBC)
- 二位 中川 颯 沼田 (ふじかけ)
- 三位 油井 颯 沼田 (ふじかけ)
- 三年生以下女子シングルス
- 一位 佐々木美輝 (米沢南部JBC)
- 二位 佐藤 野乃 (天童市)
- 三位 伊藤 玲奈 (南部シャトル)
- 二年生以下男子シングルス
- 一位 佐藤 愛翔 (大山)
- 二位 若月純一朗 (長井JSC)
- 三位 若月純一朗 (長井JSC)
- 二年生以下女子シングルス
- 一位 榎本 美優 (愛宕テリオ)
- 二位 松田 光歩 (立川)
- 三位 吉田 芽依 (上山ジュニア)
- 一年生以下男子シングルス
- 一位 石沢 太一 (ふじかけ)
- 二位 加藤 悠雅 (長井JSC)
- 三位 本間 天朗 (鶴岡六学区)
- 一年生以下女子シングルス
- 一位 山川 恵美 (ふじかけ)
- 二位 原 愛 (米沢南部JBC)
- 三位 石川 彩夏 (立川)

全国大会

- 第十四回全日本中学生バドミントン選手権大会  
(二〇一四・三・二十 北海道札幌市)
- 山形県 予選リーグ二位 (一位のみ決勝トーナメントへ)
- 第三十回全日本小学生バドミントン選手権大会  
(二〇一四・八・一 四 京都府長岡京市)
- 山形県 予選一位

- 男子団体
- 山口バドミントンスポーツ少年団 予選三位
- 女子団体
- ふじかけバドミントンスポーツ少年団 予選一位

- 全日本レジャー選手権大会  
(二〇一四・七・二十四 鹿兒島アリーナ)
- 都道府県対抗 山形県 (Aリーグ ヤマモズ)
- クラブ対抗 山形県 (Aリーグ ヤマモズ)
- 全国高等学校選抜選手権大会  
(二〇一四・八・二 千葉ポートアリーナ)
- 男子団体 鶴岡工業 (出場)
- 女子団体 山形城北 (出場)
- 男子ダブルス 伊藤 駿・藤井 啓 (山形南)
- 玉川 聖輝・五十嵐洋介 (鶴岡工業) 一回戦進出
- 男子シングルス 林 泰成 (山本学園) 出場
- 後藤 駿斗 (鶴岡工業) 出場
- 女子ダブルス 伊藤 由貴・村山明日香 (山形城北) 出場
- 青木 望・飯野 楓 (山本学園) 出場
- 女子シングルス 安部菜美子 (長井) 一回戦進出
- 伊藤 由貴 (山形城北) 一回戦進出
- 全日本教職員バドミントン選手権大会東京大会  
(二〇一四・八・十四 東京都墨田体育館)
- 一般男子団体 山形県 出場
- 一般男子複 中山 大輔 原田 和也 出場
- 三十代男子複 永岡 誠・上村 尚仁 ベスト16
- 四十代男子単 上村 尚仁 ベスト16
- 永岡 誠 ベスト32
- 第十五回全国小学生ABCバドミントン大会  
(二〇一四・八・十五 熊本県八代市)
- 男子Aグループ下位トーナメント 赤松大志吉 (山口) 出場
- 女子Aグループ下位トーナメント 原田 美唯 (ふじかけ) 出場
- 男子Bグループ下位トーナメント 大場 世風 (山口) ベスト4
- 女子Bグループ決勝トーナメント 遠藤 心夏 (上山) 二回戦進出
- 男子Cグループ下位トーナメント 佐藤 愛翔 (大山) 準優勝
- 女子Cグループ下位トーナメント 吉田 芽依 (上山) 二回戦進出
- 全国高等学校校定時制通信制大会  
(二〇一四・八・十八 小田原アリーナ)
- 男子団体 出場
- 女子団体 出場
- 男子シングルス 鈴木 雅之 三回戦進出
- 大津 大輝 二回戦進出
- 女子シングルス 町田 祐希 ベスト16
- ギワサロ 出場
- JOC第三十三回全日本ジュニアバドミントン選手権  
(二〇一四・九・十五 高知県南国市・高知市)
- 男子シングルス 菅原 理央 出場

**PRO FEATHER**

PRO FEATHERは1羽から14枚しか取れない羽根を厳選し、徹底した品質管理の基に理想の飛びを追求した、専門店会こだわりのシャトルコックです。

**GX**

¥5,778 (5,350)

●第一種検定合格品

**FD**  
[foukal dept.]

販売元 株式会社 メトロ

〒101-8521 東京都千代田区千代田1-1-1

●男子シングルス新人  
遠藤 黎 二回戦進出

●男子ダブルス  
赤木 優祐 出場

●女子シングルス  
淡谷 光希・後藤 駿斗 ベスト8

●女子ダブルス  
安部菜美子 出場

●女子シングルス新人  
三上 菜月 二回戦進出

●女子ダブルス  
大沼友里愛 出場

●女子シングルス  
伊藤 千里・佐藤 結香 出場

●女子ダブルス  
第六十九回国民体育大会  
(二〇一四・一三・一三)十六 長崎市民体育館

●成年男子  
山形県 出場

●第十三回ジュニアグランプリ二〇一四  
(二〇一四・一四・一三)二十 仙台市

●男子団体 出場

●女子団体 出場

●第九回全日本レディーズ競技大会(個人戦)  
(二〇一四・一二・六)八 滋賀県大津市・草津市

●二部ブロック 三位  
村上きよ子(山形)(霞城の友スポーツ愛好会)

●永岡 秀子(山形)(マリーゴールド)

●二部  
須藤 澄子・島貫 泰子(マリーゴールド) 出場

●第二十三回全国小学生バドミントン選手権大会  
(二〇一四・一二・二五)二十九 新潟県新潟市

●男子団体 二回戦進出

●男子シングルス四年生以下  
大場 世風(山口) 出場

●女子シングルス六年生以下  
原田 美唯(ふじかけ) 三回戦進出

●女子シングルス四年生以下  
遠藤 心夏(上山ジュニア) 三回戦進出

●男子ダブルス四年生以下  
佐藤 直紀・小林 隼人(大山) 三回戦進出

●女子ダブルス五年生以下  
齋藤 梓・齋藤 桜(愛宕テイオ) 三回戦進出

●第三十一回全日本シニアバドミントン選手権大会  
(二〇一四・一四・一三)二十四 愛知県

●二十歳以上男子シングルス  
佐藤 俊博 出場

●宮澤 拓 二回戦進出

●柳沢 健一 二回戦進出

●三十五歳以上男子シングルス  
遠藤 保樹 優勝

●四十歳以上男子シングルス  
宮澤 宗 二回戦進出

●中澤 正幸 二回戦進出

●上村 尚仁 二回戦進出

●永岡 誠 出場

●四十五歳以上男子シングルス  
宋戸 文夫 出場

●三十歳以上男子ダブルス  
佐藤 俊博・宮澤 拓 出場

●四十歳以上男子ダブルス  
中澤 正幸・渡部 泰也 二回戦進出

●四十五歳以上男子ダブルス  
大場 宣一・宋戸 文夫 出場

●五十歳以上男子ダブルス  
小関 勝也・伴野 伸行 二回戦進出

●五十五歳以上男子ダブルス  
丸山 勝美 兼権

●六十五歳以上男子ダブルス  
武田藤一郎・鈴木 国夫 ベスト8

●平方 孝夫 ベスト16

●三十五歳以上女子シングルス  
坂東真由美 二位

●六十歳以上女子シングルス  
勝木 章子 出場

●三十五歳以上女子ダブルス  
坂東真由美 ベスト8

●四十五歳以上女子ダブルス  
東海林直美 出場

●五十歳以上女子ダブルス  
沼澤真理子 ベスト8

●五十五歳以上女子ダブルス  
佐藤美代子 優勝

●柴田美恵子 二位

●六十歳以上女子ダブルス  
勝木 章子 出場

●六十五歳以上女子ダブルス  
鈴木 正井 ベスト8

●四十歳以上混合ダブルス  
渡部 泰之・沼澤真理子 二回戦進出

●五十歳以上混合ダブルス  
伴野 伸行・高橋 幸子 出場

●五十五歳以上混合ダブルス  
小関 勝也・柴田美恵子 ベスト16

●丸山 勝美・佐藤美代子 ベスト16

●六十歳以上混合ダブルス  
平方 孝夫 出場

●六十五歳以上混合ダブルス  
武田藤一郎・遠藤 暁子 出場

●鈴木 国夫・鈴木 正井 出場

### 東北大会

●第四十三回東北高校選手権大会  
(二〇一四・六・二六)二十九 青森県弘前市 青森県武道館

●男子団体 ベスト8

●女子団体 鶴岡工業

●女子シングルス ベスト8

●男子シングルス ベスト8

●女子ダブルス 花輪 祥子(天童一中) ベスト8

●男子ダブルス 国民体育大会東北ブロック大会  
(二〇一四・八・二一)二十四 福島市国民記念体育館

●国体出場権 成年男子  
出場権獲得 一位通過

●第四十四回東北総体大会第六十六回東北バドミントン選手権大会  
(二〇一四・八・二一)二十四 福島市国民記念体育館

●男女総合 五位

●男子総合 三位

●女子総合 五位

●個人戦

●三十歳男子単 遠藤 保樹 優勝(四連覇)

●四十歳男子単 小野 和之 三位

●四十歳男子複 上林 英樹・富樫 宗

●五十歳男子複 丸山 勝美・小関 勝也 三位

●三十歳女子複 坂東真由美・清野 育子 三位

●四十歳女子複 笹原 智恵・沼澤 宏子 三位

●五十歳女子複 佐藤美代子・板垣 尚美 三位

●第二十三回全日本小学生バドミントン選手権大会東北地区予選会  
(二〇一四・一四・一三)二十三 岩手県花巻市

●男子ダブルス六年生以下  
上野 豪治・本間 隆治(鶴岡六学区) 出場

●女子ダブルス六年生以下  
石沢ひかる・大山 珠莉(ふじかけ) 出場

●梅津 茉那・加藤 綾菜(長井JBC) 出場

●男子ダブルス五年生以下  
大林 大河・青柳 達也(山口) 出場

●女子ダブルス五年生以下  
齋藤 梓・齋藤 桜(愛宕テイオ) 三位

●男子ダブルス四年生以下  
佐藤 直紀・小林 隼人(大山) 三位

●女子シングルス六年生以下  
原田 美唯(ふじかけ) 優勝

●男子シングルス五年生以下  
土門 海音(立川) ベスト4

●島貫 陽仁(ふじかけ) 出場

●門脇 令(鶴岡城北) 出場

●女子シングルス五年生以下  
太田 咲(天童市) 出場

●今田 真侓(立川) 出場

●男子シングルス四年生以下  
今田 心なた(奥羽JBC) 出場

●大場 世風(山口) 三位

●今田 竜太(奥羽JBC) 出場

●女子シングルス四年生以下  
遠藤 心夏(上山ジュニア) 優勝

●第七回東北中学校バドミントン選手権大会  
(二〇一四・一二・二六)二十八 青森県弘前市

●男子団体 鶴岡一中 出場

●女子団体 鶴岡二中 出場

●男子シングルス 天童三中 出場

●男子ダブルス 赤木 優祐(米沢三中) 出場

●男子シングルス 五十嵐功一・佐藤 輝樹(鶴岡一中) 出場

●女子ダブルス  
青柳 朱音・滝口 莉彩(天童四中) 出場

●全国高校選抜東北地区予選会  
(二〇一五・一・二二)二十五 鶴岡市小真木原総合体育館

●男子団体 鶴岡工業 第三位

●男子ダブルス 岡田 樹・鎌田 圭介(山形南) 出場

●大沼 琢弥・鈴木 将也(山本学園) 出場

●菅原 理央・山本 祐貴(鶴岡工業) 出場

●淡谷 光希・後藤 駿斗(鶴岡工業) 出場

●男子シングルス  
後藤 駿斗(鶴岡工業) 出場

●淡谷 光希(鶴岡工業) 出場

●赤城 駿哉(米沢工業) 出場

●女子ダブルス  
菅原 美里・高野 志保(鶴岡北) 出場

●小野 萌香・守谷 仁見(山形商業) 出場

あなたの頑張り  
応援します！


バドミントンに関すること、何でもご相談ください。

鶴岡で  
ストリンガーの  
いるお店

皆川スポーツ

鶴岡市本町1丁目9-14 (銀座通り)  
TEL 0235 (22) 0244  
夜8時まで営業！

当店は「張人」の店です



# 足の痛み

(膝から下の痛み(内側)について)  
(脛骨骨膜炎:シンスプリントについて)

矢萩接骨院 矢萩 裕氏

みなさん。こんにちは！今回は、年度始めに多くなる膝から下の骨の内側が痛くなる症状について話をしていきたいと思います。4月から6月に下肢の痛みを訴える、バドミントン選手が多くなります。中学生や高校生に進学する際に大きい大会も終了し、受験勉強などで活動する時間が少なくなり、4月から一気に動き出すと身体がびっくりして、痛みが出現することがあります。もちろん、中学や高校に進学するという事は、パワーやスピードなどもレベルアップするので、身体に負担がかかります。今回の脛骨骨膜炎（シンスプリント）は痛みの部位は膝から下の骨の部分に出現します。痛みの症状を下に示します。

## Walshの分類

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 第1段階 | 運動後の痛み                   |
| 第2段階 | 運動中に痛みがあるが、パフォーマンスに影響はない |
| 第3段階 | 運動中に痛みがあり、パフォーマンスが低下する   |
| 第4段階 | 安静時にも、慢性的な持続する痛み         |

1～2段階では、補助しながら運動が可能です。3段階以上では足に負担がかからないように練習内容を変える必要があります。4段階では、患部の安静と施術が大事になります。

症状の予防や対処法を実践してみましょう。

### 【予 防】

1. 硬い路面（アスファルト）でのトレーニングはできるだけさける。
2. 練習時の運動靴（ランニングや競技）の使い分けを行う。

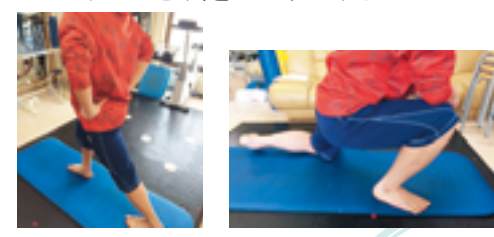
### 3. 足の補強

- 足の指の運動：タオルギャザー  
踵を床につけたまま、重りを置いたタオルをつま先で内側、外側、手前に動かす。
- 足の関節の運動  
3方向へのゴムバンドエクササイズ(下図参照)



足を下方向に      足を外側に      足を上方向に

### 4. ふくらはぎや足のストレッチ



### 5. 下肢のアライメント調整

(骨の並び：例：扁平足／O脚／X脚) など

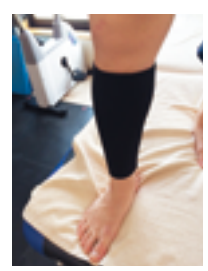
### 【応急処置】



1. アイシング



2. テーピングでの固定



3. サポーターでの固定



4. バンテージでの固定

## 編集後記

広報誌も五十号という節目の号の発行を迎えることができました。

この発行を迎えることが出来たのも、多くの諸先輩方の苦勞と広告に協賛いただいた企業の皆様のご理解、そして原稿を寄稿していただいた多くの方々の御協力の賜と改めて感謝するとともに、この歴史をさらに積み重ねていかなければならないという使命のようなものを感じずにはおれませんでした。

この節目となる五十号の発行の年に、初代広報委員長の山口良典氏が、旭日双光章を受賞されたというのも山口氏の日頃のバドミントン会への貢献の積み重ねがなしたものと改めて敬意を表したいと思います。

さて、平成二十六年度は、全国シニアでの輝かしい二人の優勝に加え、今後の国体での活躍が期待できる五十嵐選手の話もあり、二〇二〇年の東京オリンピックへの出場選手に山形県選手が名を連ねることも夢ではないと感じさせられた年となりました。今後も選手の活躍や県協会や地区協会の様子を皆様にお伝えしていきたいと思えます。

広報委員長 高橋耕太郎